

公式翻訳

天皇皇后両陛下主催の宮中晩餐会における
ベニグノ・アキノ3世・フィリピン共和国大統領による
乾杯と挨拶の言葉
2015年6月3日
東京

天皇皇后両陛下、安倍晋三内閣総理大臣、令夫人、ご列席の皆様、

我が代表団に代わり、天皇皇后両陛下の歓迎のお気持ちに衷心より感謝申し上げます。かくも丁寧なおもてなしをいただき、我が代表団のみならず、フィリピン共和国全体、また両国の友好関係にとりましても誠に光栄なことでございます。

天皇皇后両陛下が皇太子同妃両殿下として初めて我が国をご訪問になったのは、1962年のことでした。その際、両陛下は我が国の戦後を担う指導者らとお会いになりました。当時、フィリピンは経済発展において、またスポーツにおいて、日本に次ぐ地位にあると考えられていました。両陛下は我が国の歴史上、大変重要な場所もご訪問になりました。マラカニアン宮殿においては、天皇陛下はシカツナ勲章をお受けになりました。フィリピンの独立宣言が行われた場所、カヴィテ州のエミリオ・アギナルド将軍邸では、アギナルド初代大統領ご夫妻にお会いになりました。

歳月は流れ、1986年には、私は母である当時のコラソン・アキノ大統領の初の日本訪問に随行いたしました。陛下の父君であり、言うまでもなく歴史上重要な人物でいらっしゃる昭和天皇には、一介の市民に過ぎない私にまでお声をかけていただき、大変恐れ多い気持ちを抱きました。その際、母を大切にしようとお言葉もいただき、その飾り気のない、ご誠実なお話ぶりに大変感銘を受けました。私は13歳のときに、父から同じことを言われております。そのとき父と私は、おそらくこれが最後の会話になるのではないかという思いを抱いておりました。親を大切にという言葉はごく普通の表現ですが、昭和天皇のその温かみのあるお言葉に、私は自分を受け入れていただいた思いがいたしました。

昭和天皇にお目にかかったのはこのときが最初で唯一の機会となりましたが、日本を訪れた思い出は私の心にいつまでも残っております。それはご皇族の方々のご厚意はもちろんのこと、貴国が我が国に、そして母の政権に、力強

い支援をお寄せくださったことにもよるものです。当時、我が国は民主化が実現したばかりであり、国の制度や経済の立て直しに意欲的でありました。貴国のご支援は、こうした我々の取り組みに信任を与えてくださるものでした。そして、我々フィリピン国民は今日も民主主義を大切にし、それを支持して下さる方々との友情を大事にしております。

天皇皇后両陛下のフィリピンご訪問、そして私どもの先の日本訪問から数十年が経ちましたが、貴国と我が国との関係は立ち止まることなく、一層緊密さを増しています。過去に経験した痛みや悲劇は、相互尊重、尊厳、連帯に根ざした関係構築に努めるという貴国の約束によって、癒されてまいりました。我々両国は59年にわたり、双方の発展と互惠のためにともに力を合わせて進むことができることを、証明してきたのです。

今宵私は、希望と自信を再び見いだした国であり、貴国民の誇るべき友人、パートナーであるフィリピンの大統領として、ここ東京におります。数十年にわたる両国の関係を一層深め、友好と協力関係を更なる高みに導こうとするこの折に、こうして我が国がなし得た発展についてお話をする機会をいただき、感謝しております。

私の政権はその発足以来、経済発展の恩恵をすべての国民が享受できるよう、尽力してまいりました。これまで築いてきた成果は、良き統治へのゆるぎない決意、そして我がフィリピン国民からの支持に支えられたものです。我が国民は高潔、誠実、そして真の公共サービスの道が、我々の高い志すべてを実現する道でもあることを理解しています。

また同時に、我が国の発展には国際社会からの支援も重要であったことを認識しております。貴国および貴国民は、真の意味において我々の誠実なパートナーであり、友人であります。このことは、両国間の経済交流からミンダナオの和平と開発に対する両国のコミットメントにいたるまで、また人的交流から災害時の相互援助、平和と法の支配の擁護にいたるまで言えることです。

天皇皇后両陛下、我が国フィリピンでは、友情は一世代で終わるものではありません。何世代にもわたって続くものであり、長い年月をかけて、互いの関係を大切にし、守っていきます。貴国と我が国においても、変わらぬ友情と、我が国民に恩恵をもたらす戦略的な協力関係が発展いたしました。私はこのことを確信をもって申し上げます。なぜなら、両者の関係は共通の価値観に根ざしたものであるからです。その価値観とはすなわち、あまねく平和の実現という名の下での民主主義の尊重、両国民の不屈の力、そして両国民の生活の向上に尽くす国の姿勢であります。

この精神にのっとり、天皇皇后両陛下、ご皇族の方々、貴国民のご厚意への深い感謝を込め、両陛下、大臣閣下、ご列席の皆様に対し、長年にわたり両国

間の友情を大切にしてくださったことに心から感謝を申し上げます。ここで、天皇皇后両陛下、大臣閣下ならびにご列席の皆様とともに乾杯をいたしたいと存じます。

天皇皇后両陛下のご健勝とご多幸をお祈りし、

59年前に蒔かれ、フィリピン・日本両国民の善意によって育まれてきた両国関係の種が、この先数十年にわたってさらに多くの実りをもたらすことを願い、

そして、両国の戦略的パートナーシップが両国民に幸福と平和、繁栄をもたらすことを願って。